

東宝株式会社
阪急阪神ホールディングス株式会社
阪急電鉄株式会社
エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社
協力：公益財団法人阪急文化財団

「小林一三生誕一五〇年展 ―東京で大活躍―」 開催決定！

東宝株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、阪急電鉄株式会社、エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社は、阪急東宝グループ（現・阪急阪神東宝グループ）の創業者である小林一三の生誕 150 年を記念して、その足跡や業績を伝える「小林一三生誕一五〇年展 ―東京で大活躍―」を、2023 年 10 月 7 日（土）～11 月 5 日（日）に開催します。

小林一三は、阪急電車や宝塚歌劇、阪急百貨店、映画興行、住宅経営、ホテルなど数々の事業を起こし、時代を駆け抜けた実業家です。1873 年 1 月 3 日、現在の山梨県韮崎市に生まれ、今年、生誕 150 年を迎えました。

鉄道を新たに敷設し、その沿線を開発して郊外に住宅を建設、またターミナル駅に百貨店をオープンさせ、そして演劇や映画などの娯楽を提供するという、小林一三の革新的なビジネスモデルは、阪急沿線にとどまらず全国へ広がり、今もなお、多くの人々の暮らしに潤いを与え続けています。特に、宝塚歌劇をはじめとして日本の演劇文化の発展に寄与し、数多くの映画作品の製作を通じて日本の映画文化に目覚ましい貢献をしました。

本展におきましては、「宝塚歌劇と東宝を創った男」をテーマとし、エンタテインメントに注いだ情熱にフォーカスを当てて、東宝株式会社の名前の由来となった東京宝塚劇場、そして東宝株式会社がある日比谷にて、小林一三の東京での活躍をご紹介します。彼が遺した名言や生い立ち、事業のほか、宝塚歌劇のミニステージや小林一三がシリーズ化を後押ししたと言われるエピソードとともに初代ゴジラの展示も予定しています。

つきましては、下記をご確認ください。

記

催事名：「小林一三生誕一五〇年展 ―東京で大活躍―」

サブタイトル「宝塚歌劇と東宝を創った男」

会 期：2023 年 10 月 7 日（土）～11 月 5 日（日）

会 場：日比谷シャンテ 3F 特設スペース（東京都千代田区有楽町 1 丁目 2 番 2 号 東宝日比谷ビル）

時 間：11：00～20：00（日比谷シャンテの営業時間内）

料 金：無料

主 催：東宝株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、阪急電鉄株式会社、エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社

協 力：公益財団法人阪急文化財団

参 考：小林一三ドットコム <https://kobayashi-ichizo.com/>

以上

本件に関するお問い合わせ先
東宝株式会社 コーポレート本部 総務部 広報・IR 室
Mail:pr_ir@toho.co.jp

宝塚歌劇と東宝を創った男

KOBAYASHI
ICHIZO

150th

ANNIVERSARY

小林一三
生誕一五〇年展

—— 東京で大活躍 ——

期間 | 10月7日(土)~11月5日(日)

場所 | 日比谷シャンテ3F

時間 | 11:00 ~ 20:00

入場無料

主催: 東宝株式会社 阪急阪神ホールディングス株式会社 阪急電鉄株式会社 エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社
協力: 公益財団法人阪急文化財団

阪急阪神東宝グループの創業者





小林一三が生涯追い求めた理想とは？

「清く、正しく、美しく」

宝塚歌劇、東宝をはじめ、現代の私たちの暮らしを彩る数々のエンタテインメントや郊外住宅開発、ターミナル百貨店など、鉄道を軸にした沿線開発モデルを生み出した小林一三。
その背景には、変化を恐れず失敗をチャンスに変える、偉大な経営者としての信念があった。
彼が追い求めた理想とは——。事業成功の秘訣とは——。
宝塚歌劇のミニステージや、彼がシリーズ化を後押ししたゴジラ（初代）の展示とともに、朗らかな日本社会を作り出そうとした、阪急阪神東宝グループの創業者の東京での活躍を紹介する。

PROFILE

小林一三は、1873（明治6）年、現在の山梨県韮崎市に生まれました。「一三」の名は、誕生日1月3日に因みます。19歳の時に慶應義塾を卒業し、三井銀行で本店勤務の後、大阪支店に赴任しました。元来、文学青年で小説家志望であった一三ですが、銀行員時代の先輩達との出会いから事業の面白さに目覚めます。この後、阪急電車・宝塚歌劇・阪急百貨店・そして東宝と、現代の豊かな社会を形作る様々なビジネスを創始していきました。



原節子ほか東宝俳優女優・宝塚歌劇団生徒による外遊見送りの様子



河内桃子、三船敏郎による小林一三郎訪問の様子

150TH ANNIVERSARY

TOHO



ICHIZO KOBAYASHI

展示紹介

100のエピソードや名言でつづる一三の東京での活躍に関する展示多数！

POINT
宝塚歌劇のミニステージフотスポット登場！
※画像はイメージです



POINT
初代ゴジラが昭和の日比谷に登場！？



一緒に写真が撮れる

告知の内容は予定となっております。実際の内容とは異なる場合がございます。

宝塚歌劇団

鉄道の旅客誘致の一環として誕生した「宝塚新温泉」の室内プールを改造し、1914年に宝塚少女歌劇の第1回公演を行いました。当初は小林一三も脚本を手掛け、1917年には自作の宝塚少女歌劇脚本を集めた『歌劇十曲』を刊行しています。宝塚歌劇を「老若男女誰もが楽しめる国民劇」に育てようと、安価な料金で観覧できる「大劇場主義」を唱えました。



東宝

1932年に東京宝塚劇場を設立し、映画事業にも進出します。1943年、東宝映画株式会社と東京宝塚劇場を合併し、東宝株式会社が設立されました。小林一三社長のもと、1954年には黒澤明監督の『七人の侍』やゴジラシリーズ第1作『ゴジラ』が製作され、今もなお人気を博しています。



日比谷

宝塚少女歌劇を東京に進出させたのち、日比谷を本拠地とすべく劇場街の建設にとりかかりました。1934年に東京宝塚劇場と日比谷映画劇場、1935年には有楽座と日本劇場を完成させ、また1937年には帝国劇場を買収するなど、日比谷をエンタテインメントの街にすべく、事業を進めていきました。



表の写真 左上から日比谷映画劇場、日本劇場、ゴジラ、東京宝塚劇場、宝塚歌劇公演チケット、阪急百貨店（梅田阪急ビル）、第一ホテル、左下から『モン・パリ』、古川緑波、『花詩集』、阪急電車（真面有馬電気軌道1形） © TOHO CO., LTD.

日比谷シャンテ 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-2-2

電車でお越しの方

- JR山手線「有楽町駅」日比谷口より徒歩5分
- 東京メトロ千代田線「日比谷駅」徒歩2分 *A11出口直結
- 東京メトロ有楽町線「有楽町駅」より徒歩6分

- 東京メトロ日比谷線「日比谷駅」徒歩2分 *東京ミッドタウン日比谷連絡口直結
- 東京メトロ銀座線・丸ノ内線「銀座駅」C1出口より徒歩5分
- 都営地下鉄三田線「日比谷駅」徒歩6分 *A11出口/東京ミッドタウン日比谷連絡口直結

展示に関する最新情報は
こちら

